取扱説明書

トリートメントテーブル
（9 セクション）

PM-219

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

＊正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

03-073⑥L2

もくじ

用途

本製品は、最適の高さを自由に調節できる電動昇降式のマットで、様々な種類のトレーニング，マニピュレーション，マッサージ等を行うためのものです。

特長

- マットは、頭部・座部・脚部 等の9セクションに分かれ、トレーニングにあわせて無段階に角度調節ができます。
- 頭部マットには、通気口が設けてあり、うつ伏せ状態のトレーニングにも適しています。

※安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの

警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源

警告

電源コードまたはプラグを加工しない

感電または火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の恐れがあります。

注意

電源電圧は AC100V±５%の範囲内で使用する

範囲外の場合には機器の故障及び誤動作の原因になります。

電源プラグの抜き差しは、プラグ部を持つ

コードを引っ張ると、損傷して感電やショートする恐れがあります。

設置

警告

傾斜のついた場所や波打った床面では使用しない

不安定な床面ではマットが傾き、使用者が落下する恐れがあります。

使用上の注意

⚠ 注意

分解や改造は絶対にしない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

本機に水をかけない
濡れた手で操作したり、水かかかると感電や故障の恐れがあります。

ベンジン、シンナー等を使用しない
使用すると塗装面やマットを傷める場合があります。

マット部以外に消毒液をかけない
消毒液の種類によっては塗装面等に悪影響を与える場合があります。

お手入れ前に、必ず電源プラグを抜く
つないだままますると、感電や故障の原因となります。

長時間の連続昇降はない
アクチュエーターが過熱し、故障の恐れがあります。

障害物がないことを確認
マットの下や動作範囲内に障害物があると、事故の原因となります。

体重 150kg 以下で使用
それを超える体重で使用すると、故障の恐れがあります。

移乗前にアジャスターを確認
アジャスターが接地されていない状態で移乗すると、事故の原因となります。

移乗などで座る時は、座部マットに
それ以外のマットに座ると、落下してけがをする恐れがあります。

マットを下降させる時、脚部マットと床面の接触に注意
接触すると脚部マットのロックが自動的に解除されるので、使用者がけがをする恐れがあります。

使用中は、使用者の状態に注意
使用者に異変や危険を感じたら、使用を中止し適切な処置をしてください。

マットを昇降させる際は、挟み込みまれないように注意
身体や服などを挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

背部マット角度を変える時は、背部と側部のマットを平らにする
平らにしないと、座部マットの台板で側部マットが破れたり、手を挟んでけがをする恐れがあります。

各調節部のロックを確認
ロックが不十分だと落下する恐れがあります。

マットを最大傾斜のまま下降させる時、ベースフレームとの接触に注意
頭部マットがベースフレームに接触すると、スイッチにより下降動作が自動的に停止する機構になっていますが、肘受部マットを下げた状態では、肘受部マットが先にベースフレームに当り、自動停止機構が動作しません。

❊ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.13 の**始業点検項目**にもとづき､始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

電源について

電動式の電源は、必ず専用の AC100V 15A コンセントを使用してください。

警告 **・電源コードまたはプラグを加工しない**
・ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

注意 **・電源電圧は AC100V±５％の範囲内で使用する**
・電源プラグの抜き差しはプラグ部を持つ

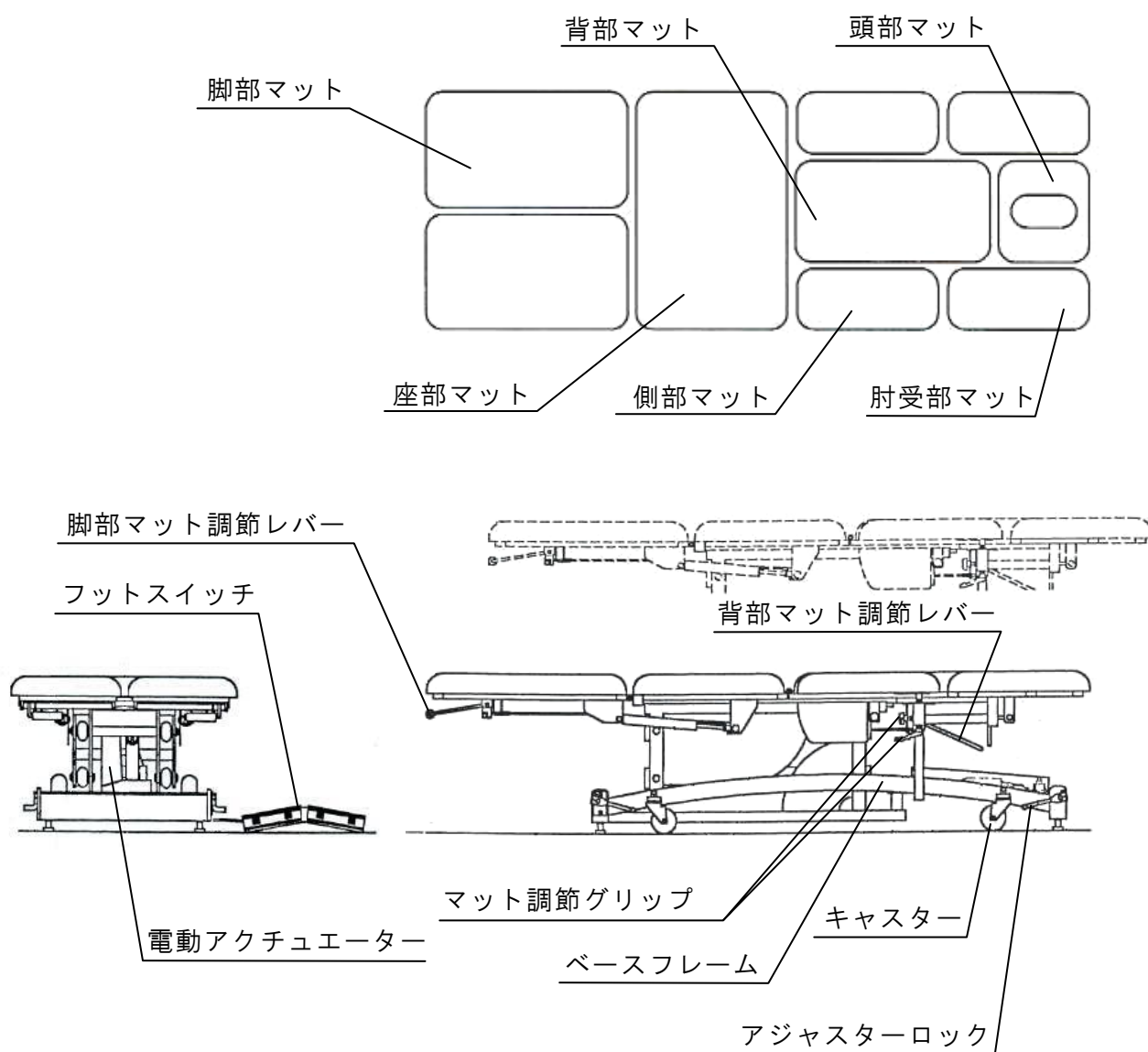
環境について

下記のような場所での使用及び保管は避けてください。

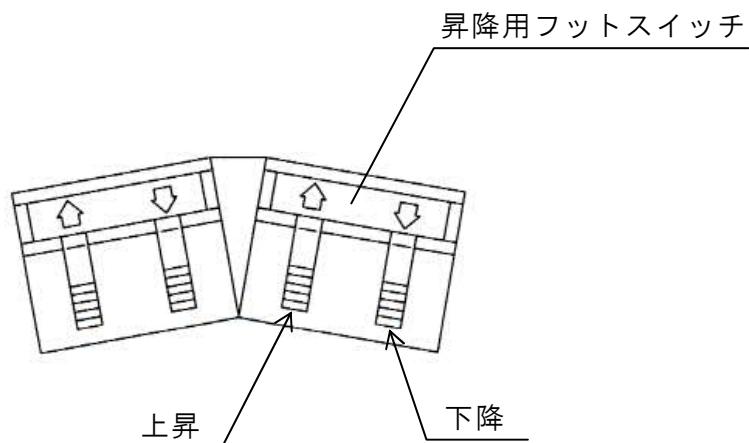
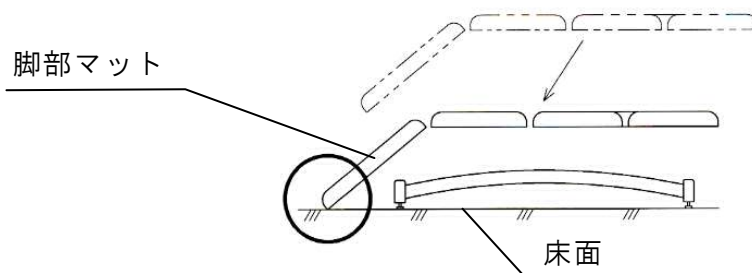
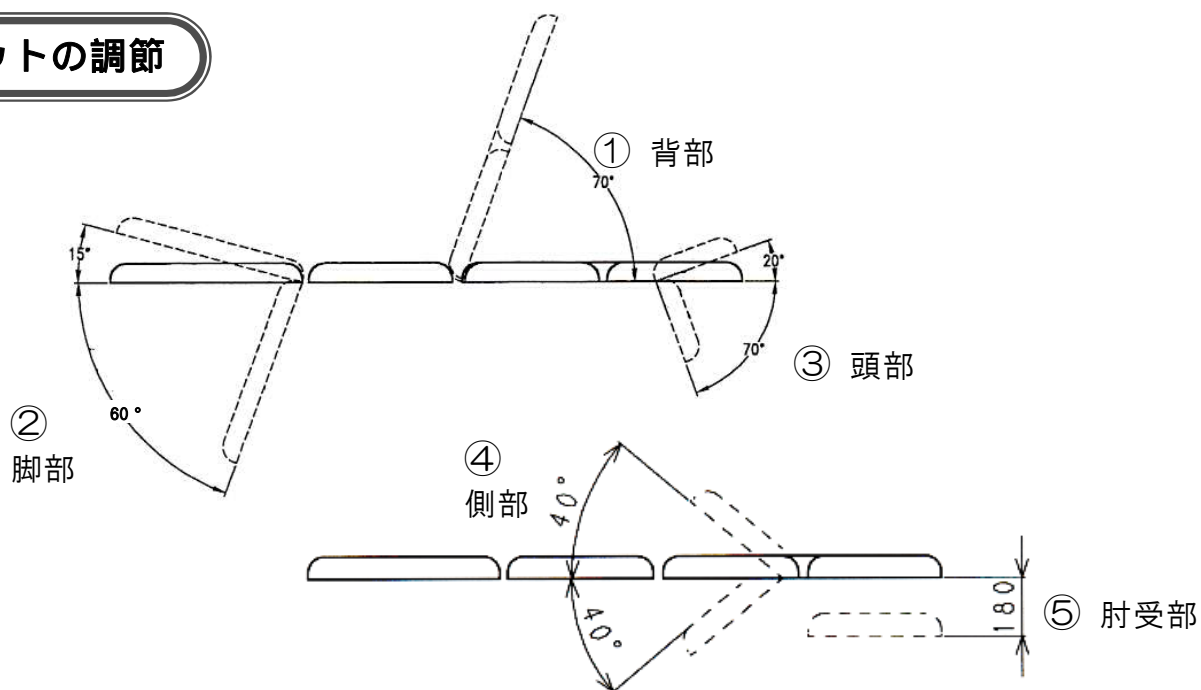
- 室外及び直射日光のあたるところ。
- 水平でない床面や段差のある不安定なところ。
- 周囲温度が－10℃～＋50℃の範囲を超えるところ。
- 湿気、ほこりの多いところ。
- 振動、衝撃の多いところ。

警告 **傾斜のついた場所や波打った床面では使用しない**

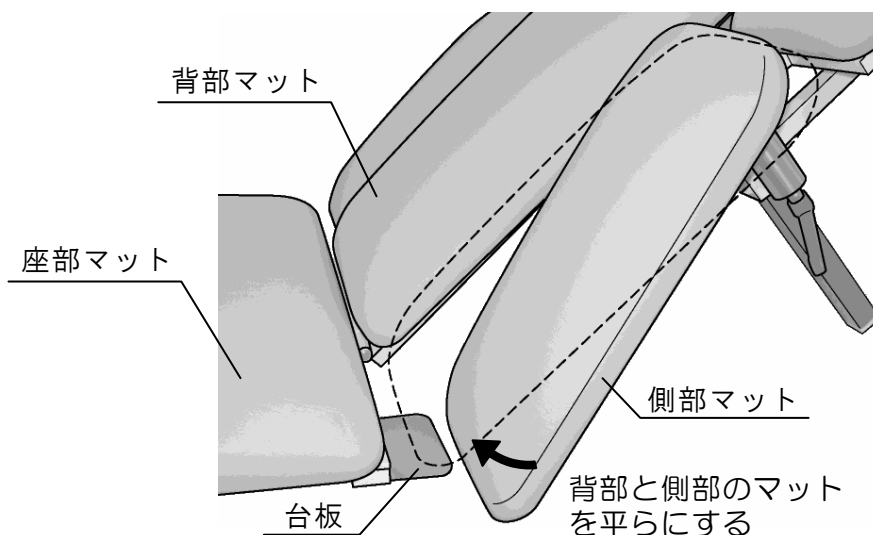
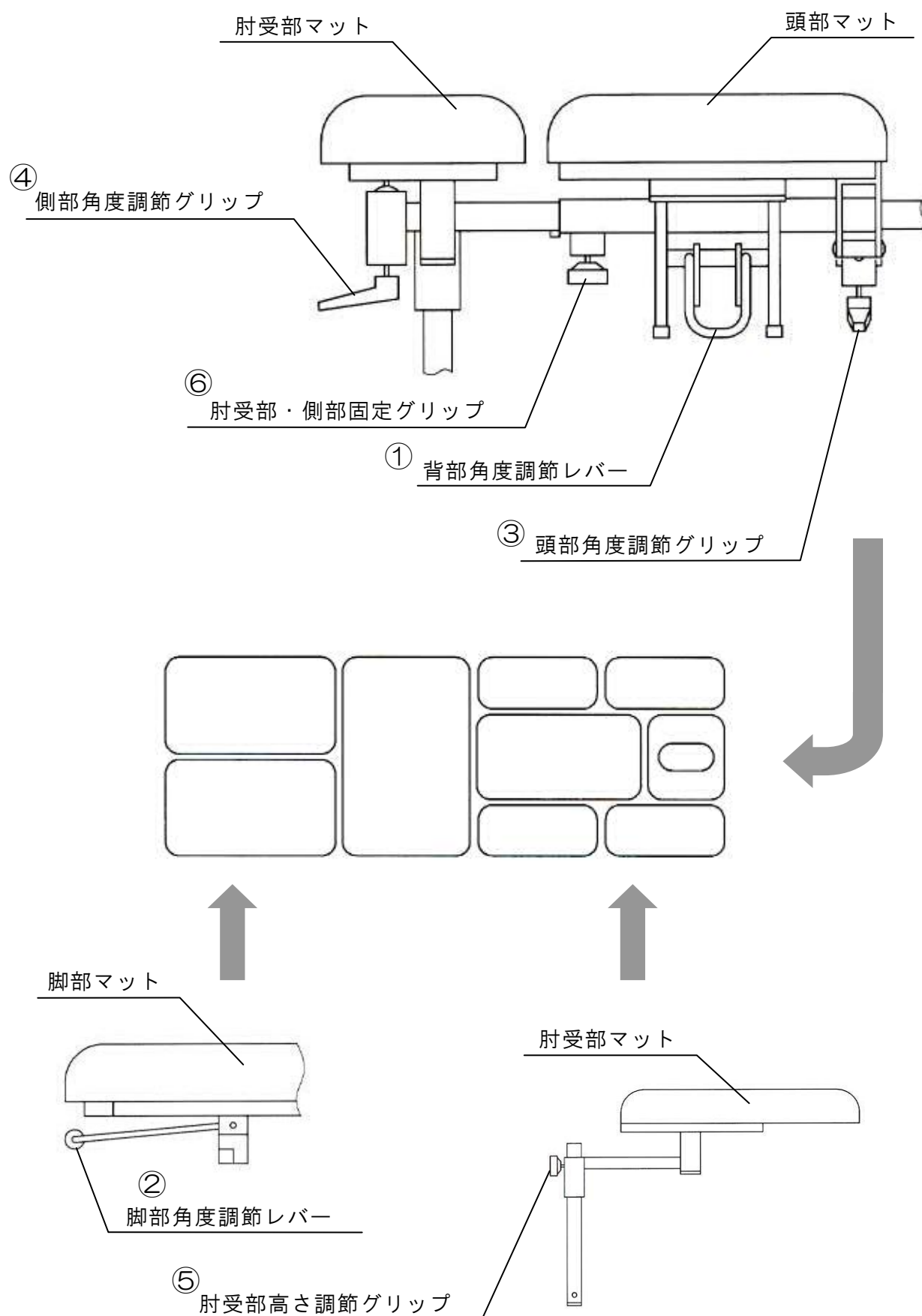
❊各部の名称

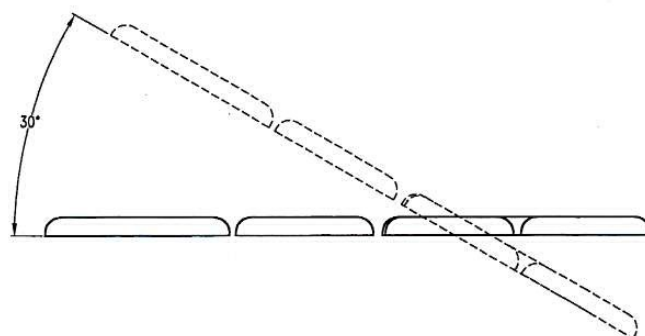
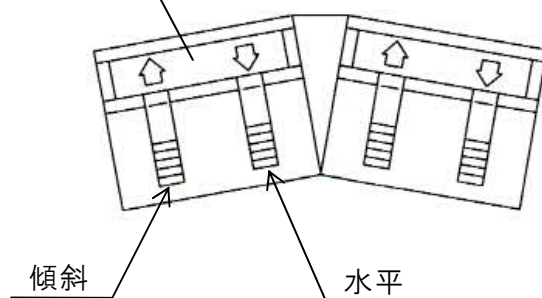
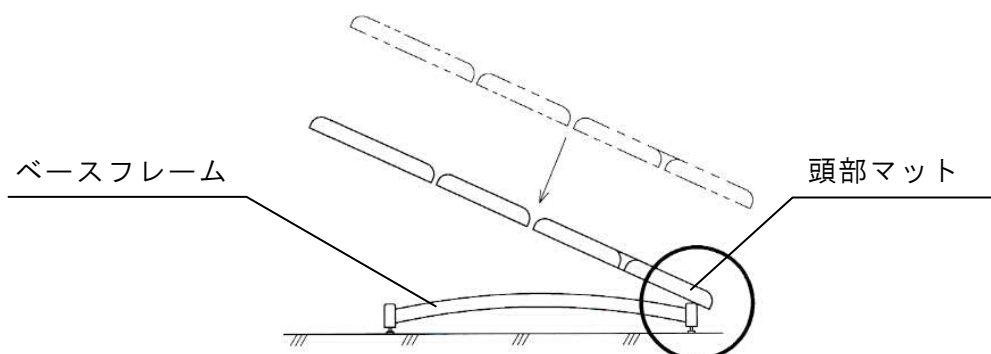
トリートメントテーブル(9 ｾｸｼｮﾝ)：PM-219

❊操作方法

マットの昇降

昇降は右側のフットスイッチで行います。上昇はフットスイッチの左側を、下降は右側を踏みます。フットスイッチから足を離すと、マットはその位置で停止します。

注意　・マットを昇降させる際は、挟み込まないように注意
・マットを下降させる時、脚部マットと床面の接触に注意

マットの調節

調節するところ	調節するグリップ またはレバーの位置	調節のしかた
背部マット ① 角度	次頁の レバー ①	レバーを上げ、マット角度を調節してください。レバーを放せば固定されます。
脚部マット ② 角度	次頁の レバー ②	
頭部マット ③ 角度	次頁の グリップ ③	グリップをゆるめて適当な位置に変え、グリップを締めてロックします。
側部マット ④ 角度	次頁の グリップ ④	
肘受部マット ⑤ 高さ	次頁の グリップ ⑤	
肘受部,側部マット⑥ 取り外し	次頁の グリップ ⑥	グリップをゆるめて取り外し、グリップを締めてロックします。

注意 ・**各調節部のロックを確認**

・**背部マット角度を変える時は、背部と側部のマットを平らにする**

■ 調節グリップ，レバーの位置

マットの傾斜

操作は左側のフットスイッチで行います。傾斜はフットスイッチの左側を、水平は右側を踏みます。フットスイッチから足を離すと、マットはその位置で停止します。

⚠注意　マットを最大傾斜のまま下降させる時、ベースフレームとの接触に注意

マットへの移乗

　マット高さを使用者の移乗しやすい高さに調節します。座部マットの中央に使用者を座らせて、補助しながら使用者をマットに移乗させてください。

注意　・移乗前にアジャスターを確認
・移乗などで座る時は、座部マットに

本体の移動

　本体の移動はアジャスターのロックを解除し、床面にキャスターを接地させ、移動します。移動後は、アジャスターをロックして、本体が動かないことを確認してください。

❊お手入れの仕方

- 本体やスイッチ等が汚れた場合は、固く絞ったぬれ雑巾で拭いてください。
  洗剤等を使用する場合は、中性のものをご使用ください。
- マット部は消毒薬で拭いた後に水拭きして、よく乾かしてください。

注意　・お手入れ前に、必ず電源プラグを抜く
・ベンジン、シンナー等を使用しない
・マット部以外に消毒薬をかけない

※このようなときには

症　状	原　因	対　策
スイッチを押しても全く動かない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。

・ご使用中、万一故障が発生したら、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いて、最寄りの営業所に連絡ください。

※機器の保守・点検について

- 本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

（なお清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします）

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、全てのアジャスターが床に着き、安定していることを確認
	各部品のはずれ、ガタつき、取付ボルトの緩み、脱落	目視 または、スパナ等による確認
	マットなどの汚れ、損傷	目視
機能	フットスイッチの状態	マットの昇降や傾斜がスムースで異音などないことを確認
	各調節部の固定 （背部、脚部、頭部、側部、肘受部）	各部がロックされていること、各マットの固定が十分であることを確認

❊保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*PM-219*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解しないでください。

損耗品（使用により、磨耗·劣化·変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

  マット

- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。

  キャスター

　点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

保守部品の保有期間

　保守用性能部品の保有期間は、販売中止後10年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

※仕 様

● ＰＭ－２１９（９セクション)

外形寸法		1975(L)×700(W)×450～900(H)mm
電　源		単相 100V 50/60Hz 15A
電源入力		300VA
質　量		約 115 kg
最大許容体重		150 kg
調節量	マット高さ	450mm
	マット傾斜角度	-30°～　0°
	頭部マット角度	-70°～ 20°
	背部マット角度	0°～ 70°
	肘受部マット高さ	180mm
	側部マット角度	-40°～ 40°
	脚部マット角度	-60°～ 15°

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。